

【消 防】

予 防

1 防火広報等

全国火災予防運動実施期間中に防火協会や女性防火クラブなどの防火関係団体と連携し、街頭広報を実施したほか、路線バスの行先表示器への「火災予防運動実施中」の表示、トータルテンボスを起用した「火災予防・救急フェア」をららぽーと沼津等で開催しました。

(1) 火災予防運動等実施期間

- ア 危険物安全週間 令和4年6月5日から令和4年6月11日まで
- イ 秋季全国火災予防運動 令和4年11月9日から令和4年11月15日まで
- ウ 春季全国火災予防運動 令和5年3月1日から令和5年3月7日まで

(2) 火災予防運動等実施期間中の実施内容

- ア トータルテンボスを起用した「火災予防・救急フェア」の開催
(ららぽーと沼津、サントムーン柿田川、沼津みなと新鮮館)
- イ 在宅ケアマッサージ師の協力による利用者へのチラシ配布
- ウ ヤクルトレディの協力による防火広報（保冷バッグへのチラシ掲示）
- エ 管内の小学生を対象とした防火ポスターコンクールの開催及び防火カレンダーの作成
- オ 火災予防かわら版の発行
- カ アスルクラロ沼津ホームゲームにおける防火広報
- キ 商業施設の館内放送を活用した防火広報
(カインズ修善寺店、マックスバリュ稲取店)
- ク ラジオ局、ケーブルテレビ局を活用した防火広報
- ケ 防火協会加入事業所への「危険物安全週間実施中」のぼり旗の掲揚（13事業所）
(危険物安全週間)

2 消防設備

建築物の新築、増・改築、用途変更の建築確認申請に伴う消防同意及び消防法令に基づく消防用設備等の設置指導を実施しました。

(単位：件)

区 分	令和3年度	令和4年度	増減
消防同意（建築物の調査及び安全指導）	442	437	△5
消防法令に基づく消防用設備等の完成検査	712	835	123

3 査察

年間査察計画に基づき、防火対象物及び危険物施設に対する定期査察を実施しました。

また、利用者がその建物の利用を防火の安全性から判断できるようにするとともに、建物関係者による防火管理業務の適正化及び消防用設備等の適正な設置を促進することを目的とする「違反對象物公表制度」により、重大な消防法令違反がある防火対象物をホームページ上に公表しました。

(1) 立入検査（防火対象物）

(単位：件)

市 町	令和3年度	令和4年度	増減
沼 津 市	624	661	37
伊 東 市	336	384	48
伊 豆 市	125	126	1
伊 豆 の 国 市	134	122	△12
東 伊 豆 町	46	102	56
函 南 町	83	69	△14
清 水 町	79	110	31
合 計	1,427	1,574	147

(2) 立入検査（危険物施設）

(単位：件)

市 町	令和3年度	令和4年度	増減
沼 津 市	10	26	16
伊 東 市	5	73	68
伊 豆 市	11	26	15
伊 豆 の 国 市	14	53	39
東 伊 豆 町	1	23	22
函 南 町	7	15	8
清 水 町	5	1	△4
合 計	53	217	164

(3) 違反對象物公表制度

公表した防火対象物数 6件

是正された防火対象物数 2件

4 危険物

消防法令に基づき危険物施設（製造所、貯蔵所及び取扱所）の許可、完成検査等を実施しました。

(1) 危険物施設

(単位：件)

区 分	令和3年度	令和4年度	増減
設置・変更許可	107	121	14
設置・変更完成検査	103	121	18
仮使用承認	77	77	0
水圧（水張）検査	1	1	0
仮貯蔵・仮取扱承認	23	20	△3
合 計	311	340	29

(2) 煙火消費

(単位：件)

区 分	令和3年度	令和4年度	増減
許 可 件 数	58	58	0
届 出 件 数	31	38	7

※ 煙火を消費する場合には、その「種類」及び「数量」により県知事から権限移譲された市町村長等の許可が必要となります。

許可を要しない煙火の消費の場合には、消防長に届出が必要となります。

5 火災

令和4年中における火災件数は136件で、前年と比較すると23件減少し、火災の種別ごとに見ると、「建物火災」が76件で全体の55.9%と最も多く、次いで枯草などが燃える「その他の火災」が46件発生しました。

火災による死者は5人で、前年と比較すると3人減少し、主な出火原因としては、「たき火・火入れ・取灰」が19件（14.0%）、「電気機器・電気装置」が16件（11.8%）、「放火・放火の疑い」が11件（8.1%）となっております。

(1) 火災件数

(単位：件)

市 町	令和3年中	令和4年中	増減
沼 津 市	75	65	△10
伊 東 市	28	20	△8
伊 豆 市	18	12	△6
伊 豆 の 国 市	14	14	0
東 伊 豆 町	9	7	△2
函 南 町	11	10	△1
清 水 町	4	8	4
合 計	159	136	△23

(2) 火災種別 () 内、令和3年中との増減

(単位：件)

市 町	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他の火災
沼 津 市	34(△2)	1(1)	9(2)	0(0)	21(△11)
伊 東 市	13(△6)	0(0)	0(0)	0(0)	7(△2)
伊 豆 市	5(0)	0(△4)	1(△1)	0(0)	6(△1)
伊豆の国市	11(6)	0(0)	1(0)	0(0)	2(△6)
東伊豆町	3(0)	0(0)	0(△1)	0(0)	4(△1)
函 南 町	4(2)	0(△1)	1(△2)	0(0)	5(0)
清 水 町	6(4)	0(0)	1(△1)	0(0)	1(1)
合 計	76(4)	1(△4)	13(△3)	0(0)	46(△20)

(3) 焼損床面積

(単位：㎡)

市 町	令和3年中	令和4年中	増減
沼 津 市	1,686	1,380	△306
伊 東 市	562	778	216
伊 豆 市	509	660	151
伊豆の国市	1,533	136	△1,397
東伊豆町	1	19	18
函 南 町	80	1	△79
清 水 町	2	438	436
合 計	4,373	3,412	△961

(4) 損害額

(単位：千円)

市 町	令和3年中	令和4年中	増減
沼 津 市	106,333	96,328	△10,005
伊 東 市	33,621	96,318	62,697
伊 豆 市	17,828	20,867	3,039
伊豆の国市	108,565	2,492	△106,073
東伊豆町	520	132	△388
函 南 町	2,007	192	△1,815
清 水 町	744	78,587	77,843
合 計	269,618	294,916	25,298

(5) 死傷者 (死亡)

(単位：人)

市 町	令和3年中	令和4年中	増減
沼 津 市	8 (2)	16 (4)	8 (2)
伊 東 市	8 (4)	4 (1)	△4 (3)

伊 豆 市	2 (1)	2 (0)	0 (△1)
伊 豆 の 国 市	2 (1)	3 (0)	1 (△1)
東 伊 豆 町	0 (0)	1 (0)	1 (0)
函 南 町	1 (0)	0 (0)	△1 (0)
清 水 町	0 (0)	3 (0)	3 (0)
合 計	21 (8)	29 (5)	8 (△3)

(6) 出火原因別件数

(単位：件)

区分	たき火・火 入れ・取灰	電気機器・ 電気装置	放火・放火 の疑い	たばこ	配線器具	その他	不明	合計
令和3年中	28	13	15	14	5	75	9	159
令和4年中	19	16	11	9	9	57	15	136
増 減	△9	3	△4	△5	4	△18	6	△23

警 防

1 消防車等の配備

東伊豆消防署にはしご付消防自動車、沼津南消防署戸田出張所に軽連絡車及び沼津北消防署に災害活動支援車を配備しました。

また、沼津北消防署原分署に消防ポンプ付水槽車及び清水町消防署に水槽付消防ポンプ自動車の配備予定でしたが翌年度繰越となっています。

令和5年3月31日現在

方面	署所等	車両															合計		
		水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車	消防ポンプ付水槽車	はしご付消防自動車	屈折はしご付消防自動車	高規格救急自動車	救助工作車	指揮車	多機能型災害対応車	水難救助車	重機搬送車	人員搬送車	火災調査車	支援・搬送車		救急普及啓発広報車	その他の車両
本部	企画課																	2	2
	総務課																	1	1
	予防課													1				3	4
	警防課																	3	3
	救急課															1		1	2
	通信指令課																	1	1
第1方面	沼津北消防署	1		1			1	3	1	1				1		2		1	12
	原分署	1	2		1			1							2			1	8
	沼津南消防署	1	2	1	1	1		2	1	1					2			3	15
	静浦分署		1					1			1				1				4
	内浦出張所		1															1	2
	大平出張所		1															1	2
	西浦出張所		1					1										1	3
	戸田出張所		1					1										1	3
	清水町消防署	1	1					2	1						1			1	7
第2方面	田方中消防署		1	1	1	1		2		1	1				1			4	13
	田方北消防署	1	1					1	1			1	1		1			1	8
	田方南消防署	3						2							1	1	2		9
	西出張所		1					1										1	3
第3方面	伊東消防署	2	1		1		1	2	1	1				1		3		3	16
	八幡野分署	1						1				1							3
	宇佐美出張所		1					1											2
	吉田出張所	1						1											2
	東伊豆消防署	1	1			1		2										2	7
合 計		13	16	3	4	3	2	24	5	4	2	1	1	3	1	15	1	34	132

2 出動件数

令和4年中における救助出動件数は、328件（前年比+24件）です。

事故種別出動件数は、「建物等による事故」が113件（34.5%）、「交通事故」が72件（22.0%）、「水難事故」が30件（9.1%）、「機械による事故」が8件（2.4%）、「火災」が6件（1.8%）、「ガス及び酸欠事故」が2件（0.6%）の順となっています。

（単位：件）

事故種別	建物等による事故	交通事故	水難事故	機械による事故	火災	ガス及び酸欠事故	自然災害	破裂事故	その他	合計
3年中	101	56	19	2	2	2	27	0	95	304
4年中	113	72	30	8	6	2	0	0	97	328
増減	12	16	11	6	4	0	△27	0	2	24

救 急

1 出動件数

令和4年中における救急出動件数は、26,111件（前年比+3,191件）です。

事故種別出動件数は、「急病」が16,041件（61.4%）で最も多く、「一般負傷」が4,157件（15.9%）、「交通事故」が1,380件（5.3%）の順となっています。

（単位：件）

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
3年中	148	12	42	1,273	183	65	3,702	50	199	13,497	3,749	22,920
4年中	121	2	54	1,380	174	91	4,157	67	175	16,041	3,849	26,111
増減	△ 27	△ 10	12	107	△ 9	26	455	17	△ 24	2,544	100	3,191

2 現場到着時間及び病院収容所要時間

救急自動車による現場到着時間及び病院収容所要時間は、次のとおりです。

（単位：分）

		入電～現場到着	現着到着～搬送開始	搬送開始～病院到着	合計
沼津市	令和3年中	9.6	23.3	11.7	44.6
	令和4年中	10.2	25.1	12.1	47.4
伊東市	令和3年中	10.0	17.4	14.9	42.3
	令和4年中	10.7	17.2	15.5	43.4
伊豆市	令和3年中	13.3	23.2	18.5	55.0
	令和4年中	14.1	25.8	18.9	58.8
伊豆の国市	令和3年中	9.1	21.3	11.6	42.0
	令和4年中	9.8	23.2	13.3	46.3
函南町	令和3年中	11.5	20.5	14.5	46.5
	令和4年中	12.4	20.7	14.5	47.6
東伊豆町	令和3年中	12.9	23.3	27.7	63.9
	令和4年中	14.4	24.3	30.3	69.0
清水町	令和3年中	8.0	21.8	10.7	40.5
	令和4年中	8.4	22.9	10.6	41.9
全体	令和3年中	10.1	21.5	13.6	45.2
	令和4年中	10.8	22.7	14.3	47.8

3 救急教育

新型コロナウイルス感染症蔓延状況を鑑み、令和3年度は中止していた救急救命士の病院実習を11月から再開し、各種研修会や訓練については、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施しました。

また、住民に対する救命講習会については、5月から7月まで実施し、一時中止となりましたが、10月から再開し、183回の開催で3,740人が受講しました。

- ・救急救命士研修（対象者：88人）一人平均 83時間／年間

4 主な訓練等

(1) 救急隊長研修

ア 目的

救急現場の最前線で業務を推進する救急隊長に、適正な業務遂行のため、現場対応能力や危機管理能力の向上を図ることを目的とする。

イ 実施日 令和4年6月22日（水）から令和4年6月24（金）までの3日間

ウ 場所 田方中消防署

エ 参加者 68人

オ 内容

(7) 午前の部

あ 公文書の取扱い

い 救急隊長の責務及び救急行政の現状と課題

う グループワーク【現場活動上の危機管理対応について①】

(4) 午後の部

あ 情報資産取扱い実施手順（救急係編）

い 搬送通知書記入実習

う グループワーク【現場活動上の危機管理対応について②】

(2) 救急総合想定訓練

ア 目的

救急活動中におけるトラブルシューティングをテーマとし、状況変化への即応能力向上を目指す。

イ 実施日

(7) 令和4年11月15日（火）16日（水）17日（木）第2方面救急隊

(4) 令和4年12月13日（火）14日（水）15日（木）第3方面救急隊

(6) 令和5年1月17日（火）18日（水）19日（木）第1方面救急隊

(4) 令和5年2月14日（火）15日（水）16日（木） //

ウ 場所 伊東消防署、田方中消防署、救急ワークステーション

エ 参加者 171人

オ 内容

(7) 法令及びプロトコールを遵守した活動

(4) 状況変化に応じた的確なりカバリーの実践

(6) 緊急度判断及び重症者への迅速な対応

通 信

119番通報受信概況

令和4年中の119番受信件数は、34,676件（前年比+4,073件）で、1日平均95.0件（前年比+11.2件）を受信しました。

火災・救急等の災害通報は、29,087件で全体の83.9%を占め、緊急性のない問合せ等については5,589件で16.1%でした。

携帯電話からの通報は、15,702件で45.3%を占め、I P電話からの通報は9,954件で28.7%、一般電話等からの通報は7,341件で21.2%でした。

なお、前年と比較すると、携帯電話からの通報は2,906件増加、I P電話からの通報は1,073件増加、一般電話等からの通報は119件減少しました。

[119番通報受信状況]

(単位：件)

災害種別		合計	災 害 通 報					緊急性のないもの			
			小計	火災	救急	救助	他の災害	小計	問合せ	間違い等	訓練他
合 計	R 4 年	34,676	29,087	460	26,816	414	1,397	5,589	1,948	1,424	2,217
	R 3 年	30,603	25,202	488	22,870	335	1,509	5,401	1,753	1,468	2,180
増 減		4,073	3,885	△ 28	3,946	79	△ 112	188	195	△ 44	37
携帯電話	R 4 年	15,702	13,424	221	12,513	259	431	2,278	1,213	933	132
	R 3 年	12,796	10,674	252	9,734	195	493	2,122	1,029	948	145
増 減		2,906	2,750	△ 31	2,779	64	△ 62	156	184	△ 15	△ 13
I P 電話	R 4 年	9,954	9,020	58	8,874	27	61	934	366	116	452
	R 3 年	8,881	7,976	59	7,792	31	94	905	327	133	445
増 減		1,073	1,044	△ 1	1,082	△ 4	△ 33	29	39	△ 17	7
一般電話	R 4 年	7,341	5,257	101	4,817	52	287	2,084	294	322	1,468
	R 3 年	7,460	5,345	95	4,851	51	348	2,115	311	340	1,464
増 減		△ 119	△ 88	6	△ 34	1	△ 61	△ 31	△ 17	△ 18	4
上記以外	R 4 年	1,679	1,386	80	612	76	618	293	75	53	165
	R 3 年	1,466	1,207	82	493	58	574	259	86	47	126
増 減		213	179	△ 2	119	18	44	34	△ 11	6	39

[市町別受信状況]

(単位：件)

市町別	災害通報			緊急性のないもの		
	R 4 年	R 3 年	増 減	R 4 年	R 3 年	増 減
合 計	29,087	25,202	3,885	5,589	5,401	188
沼津市	12,223	10,774	1,449	2,603	2,474	129
清水町	1,912	1,692	220	221	211	10
函南町	1,964	1,768	196	319	271	48
伊豆の国市	3,456	3,001	455	484	444	40
伊豆市	2,314	1,940	374	452	429	23
伊東市	6,072	5,042	1,030	1,198	1,200	△ 2
東伊豆町	1,125	953	172	301	300	1
管外	21	32	△ 11	11	72	△ 61